

「バカヤロー」「辞めてしまえ」は暴言ではない！

これがJR東海では常識

暴言を受けて退職した
全ての社員に謝罪せよ！

会社は、5月25日開催した業務委員会で、乗務停止となった乗務員に対し、「管理者が『バカヤロー』『辞めてしまえ』などと言うのは暴言ではない」と言い放った。しかも、これは「熱心な指導を行う中での言葉」と開き直った（業務速報514号参照）。

この業務委員会は、JR西日本福知山線事故を契機として、本部が緊急に申し入れたもので、申し入れから約1ヶ月が経ってから開催したものだ。この姿勢だけを見ても、会社の安全姿勢が問われる。

5月16日の定例記者会見で、松本社長は「当社にはいじめの日勤教育はない」と大ボラを吹いた。それに続くものである。2002年2月29日、静岡支社は「業務委員会席上、東海労の業務委員がバカヤローという暴言を吐いたため警告書を手交した」という内容で、『静岡勤労情報 14』を出した。どうやら、「バカヤロー」は会社の都合で、暴言にも指導にもなるらしい。本当にこの会社は非常識のかたまりである。

この間、管理者の暴言により、何人もの社員が会社を辞めたり、配転させられた事実を、どう説明するのか！ 私たちは、怒りを持って弾劾する！